

地域の福祉づくりは市民の手で ～新総合事業に関する市民の意向調査・ 自治体調査 2015 年度～調査報告会



ひと・まち社は、設立当初から高齢者の自立生活に大きくかかわる介護保険制度について自治体調査や利用者調査を重ねてきました。現在は、各自治体が実施する新総合事業の準備状況について3年間の継続調査を行っています。今年度実施する2016年度第2回調査につなげるために、第1回調査の報告会を10月6日に新宿文化センターで行い、およそ30名の参加がありました。基調講演をお願いした小林良二氏（東京都立大学名誉教授）からは、これまでのひと・まち社の調査活動を振り返っていただき、市民による調査の意義と地域のネットワークづくりには市民活動が重要であることが改めて確認できました。会場からは、自治体の見守り相談室は住民自治が進んでいる地域から始まっていること、サービスが必要な高齢者だけでなく家族支援が必要なことなどが意見としてあがり、次回調査につながる報告会となりました。

★認定 NPO 法人になりました！

ひと・まち社は認定 NPO 法人となることをめざし、2014 年に仮認定を受けて活動してきました。認定 NPO 法人になるには、組織運営が確かなこと、情報公

開に努めていること、多くの人々に支えられていることが条件です。皆様のご協力により「2 年間で 3000 円以上の寄付者 200 人以上」の基準を満たすことができ、2016 年 10 月 21 日付で認定 NPO 法人となることができました。ひと・まち社への寄付は税額控除の対象となります。これからより一層大勢の市民の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、地域福祉の充実に向けた調査活動を続けていきたいと思ひます。

今年度実施する第2回新総合事業に関する調査を充実させるためには皆様のご支援とご協力が必要です。これからもよろしくお願い申し上げます。

認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社
理事長 工藤春代

～ひと・まち社へのご寄附はこちらの口座へ～

郵便振替口座 00170-6-410791

NPO 法人市民シンクタンクひとまち社

三菱東京 UFJ 銀行

新宿中央支店 普通 5298170

特定非営利活動法人市民シンクタンクひとまち社

「新総合事業に関する市民の意向調査・自治体調査報告書(2015 年度)」
1 冊 1000 円で販売中！ご希望の方は、
下記までお申し込みください。



認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社

[TEL] 03-3204-4342 [FAX] 03-6457-6202

インフォメーション

- ① **だれでもほっとできる居場所を** 主催：生活クラブ運動グループ世田谷地域協議会
日時：2017 年 1 月 21 日（土）14：00～16：00（予定）
会場：生活クラブ館地下スペース 参加費：無料 ★参加者同士の交流や情報交換の時間もあります！
講師：光岡明子さん（NPO 法人せたがや福祉サポートセンター代表）
- ② **「子どもの居場所」現状とこれから** 主催：生活クラブ運動グループ江戸川地域協議会
日時：2017 年 3 月 11 日（土）13：30～15：30（予定）
会場：タワーホール船堀 407 会議室 参加費：無料 ★支援現場からの報告もあります！
コーディネーター：大河内秀人さん（江戸川子どもおんぶず代表）
【お申込み・お問合せ】TEL：①世田谷 03-5797-4808 ②江戸川 03-5607-5975



相手の心によりそう姿勢～日々の暮らしの中に傾聴をいかす～

職場の同僚、友人、子ども、夫婦、年を取った両親・・・。
毎日の生活の中で、人とのつながりにつまづき、すれ違いを感じることはありませんか？
“傾聴”を通じて 周囲との豊かで温かい関係を築いていきましょう。

日時：12 月 14 日（水）13：00～16：00

会場：ACT 会議室（地下鉄 中野坂上駅から 徒歩 6 分）

講師：後庵 正治さん（NPO 法人パートナーシップ アンド リスニングアソシエーション）

主催：NPO 法人アビリティクラブたすけあい（ACT）

参加費：1000 円（ACT 会員は無料） 定員：先着 40 名

【お申込み・お問合せ】NPO 法人アビリティクラブたすけあい（ACT）担当：井上

TEL：03-5302-0393 FAX03-5302-0394



2016 子育て支援フォーラム

「子ども食堂」をテーマとした昨年度の子育て支援フォーラムを経て、都内には現在、生活クラブ運動グループ団体や組合員が関わる「子ども食堂」が 11 市区で展開されています。今年度は、さらに課題を掘り下げ、食事の提供以外に何ができるかをともに考えるため、「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク世話人で、名寄市立大学教授の山野良一さんを講師に、11 月 6 日（日）、フォーラムを開催しました。



神奈川県で児童福祉司として勤務していた山野さんは、アメリカ児童保護局でもインターンとして働くなど、困難な状況に置かれる子どもたちに数多く寄り添ってきました。そうした経験者でなければ語れないリアルな、しかし多くの人が知りえないであろう実例、そして日本が生み出す貧困の背景が、海外との比較も交え、豊富なデータに基づき語られました。参加者からは、貧困と密接な虐待、孤立への総合的な対策、高い学費や奨学金問題の解消、子ども予算の増加などが望まれ、身近に子どもの居場所をつくる重要性が再認識されました。

地域からは、世田谷「さんさん子ども食堂」、武蔵野「みかづき子ども食堂」の報告がなされました。NPO 法人せたがや福祉サポートセンターの光岡明子さんが 22 年前、世田谷に立ち上げた高齢者交流の場「ひこばえ」は現在 18 か所に。在宅支援やこころの健康支援にも関わる中、昨年、子ども食堂を

開設。「ないものは自分たちでつくる」という活動の原点が語られました。また、武蔵野の取り組みは実施場所を制約の多い市施設から有志宅へと変更。民生児童委員でもある大島登志子さんから、学習支援や、家主さんが趣味とする天体観測が毎回楽しみのひとつになっているとの報告がありました。

困っている子どもとどうつながることができるか、との質問に、お2人からは「近隣の学校やスクールソーシャルワーカー、民生委員などと連携すること」「子どもからも情報は伝わるので、まずは来てもらうこと」「待つだけではなく、事前に直接電話をするなどアウトリーチも」などのアドバイスがありました。（インクルーシブ事業連合事務局 稲宮須美）



【さんさん子ども食堂】
第3火曜 トナリプラザ2F
子どもと一緒に食べることで
高齢者も元気になる実感。



【みかづき子ども食堂】
第1・3水曜 テンミリオンハ
ウス「くるみの木」隣家
「子ども食堂ニュース」を寄付
者や関係者に配布。

*いずれも子ども無料 大人 300 円

インクルファンド 2016 年度第2回助成・選考結果



プレゼンテーションの様子
上/「子ども食堂」ふたば準備会
下/共に働くワーカーズえんこらしよ

2016 年度第2回助成のプレゼンテーションと選考委員会が9月15日に行われ、5 団体からの応募に対して合計 119 万 4,885 円の助成を決定しました。

2016年度第2回(10月助成)インクルファンド助成応募団体一覧

新たな地域福祉事業の立ち上げ準備費用

企画名	団体名	活動エリア	助成額(円)
共に働くを基本方針としたワーカーズの立ち上げ (石けんでお掃除、高齢者のパソコン教室、日野産のトマトでジャム作り)	共に働くワーカーズ えんこらしよ	日野市	337,885
「子ども食堂」ふたば	「子ども食堂」ふたば準備会	品川区	87,000
まちのほっとスペース わ・おん の立ち上げ	小金井ワーカーズまちの縁がわ わ・おん	小金井市	500,000
まちのほっとスペース ちっちゃいおうちの立ち上げ	小平・ワーカーズまちの縁がわ ちっちゃいおうち	小平市	170,000

地域福祉に関わる事業継続のためのサポート

企画名	団体名	活動エリア	助成額(円)
相談スペースの整備事業	NPO法人VIVID	新宿区	100,000